いわき市感染症発生動向調査

令和7年第32週(8月4日~8月10日)

○警報

【警報】伝染性紅斑

※警報・注意報の基準については、市ホームページ内「医療機関のみなさまへ」をご覧ください。

〇定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

	順位	疾患名	定点あたり患者報告数		増減の傾向
ľ			今週	前週	(過去2週間との比較)
Ī	1	伝染性紅斑	5.60	7.00	減少
Γ	2	新型コロナウイルス感染症	5.44	3.11	増加
	3	RSウイルス感染症	2.00	0.80	増加

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、季節性インフルエンザと同じ5類感染症に位置づけられましたが、5類移行後も新型コロナウイルス の感染力や病原性は変わっていません。例年、お盆期間からお盆明けにかけて患者数が増加することから、注意が必要です。 感染対策へのご理解とご協力をよろしくお願いします。



新型コロナウイルス感染症に係る定点医療機関当たりの報告数の推移

20 ◆いわき市 ◆全国 ◆福島県 発生動向調查(2024年第32调:R6.8.5~) 18 16 足点当たりの報告数 14 10 5.44 8 6 福泉県 0 32 34 36 38 40 42 44 46 48 50 52 22 (调) 11月 8月 9月 10月 12月R7.1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

お盆期間からお盆明 けにかけて、例年患 者数が増加していま す。





高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクが高まりますので、通院や高齢者施設を訪問する場合には、マスクの着用等、引き続き感染予防 対策を心がけましょう。



・市内では、定点あたり報告数が第29週(7/14~7/20)9.80と過去 10年で最多となっており、全国及び県でも報告数が多い状況が続いて います。

・妊娠中または妊娠の可能性のある方が感染すると胎児に影響を及ぼ す恐れもあることから、人混みを避け、こまめな手洗い、マスクの着用 等の感染対策を心がけましょう。



RSウイルス感染症とは主に乳幼児で流行し、重症化すると気管支炎・肺炎 等の原因になる場合があります。特に高齢者や慢性呼吸器疾患、基礎疾患 のある方は重症化リスクが高いため、高齢者施設での集団発生などにも注 意が必要です。感染経路は、飛沫感染や接触感染です。手洗いやうがいな どの基本的な感染対策をお願いします。

◆百日咳増加中!!◀

県内では、1年間の報告数がこれまでで最も多くなっています。 市内でも今年の報告数が、調査開始以降最多となっておりますので注意が必要です。

⇒詳しくは、いわき市ホームページ【百日咳について】をご覧ください。 https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1747183846004/index.html

